

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要					
建物名称	スギコ産業(株)倉庫新築工事				
建設地	西蒲区 遠藤字場根2810番地3~4				
用途地域	市街化調整区域				
建物用途	工場				
竣工年	2012年12月 予定				
敷地面積	14,393.05 m <sup>2</sup>				
建築面積	1,748.27 m <sup>2</sup>				
延床面積	3,150.80 m <sup>2</sup>				
階数	地上2F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2012年7月19日				
					
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{38}{34} = 1.1$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.3		バリアフリー	Q2.1.1.3	-
			維持管理	Q2.1.3	2.5
			更新性	Q2.3.3	4.0
2. 地震への取組み かけがえない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.0		節水	LR2.1.1	-
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
再生可能な材料を使用し、資源循環の取組みに配慮する					

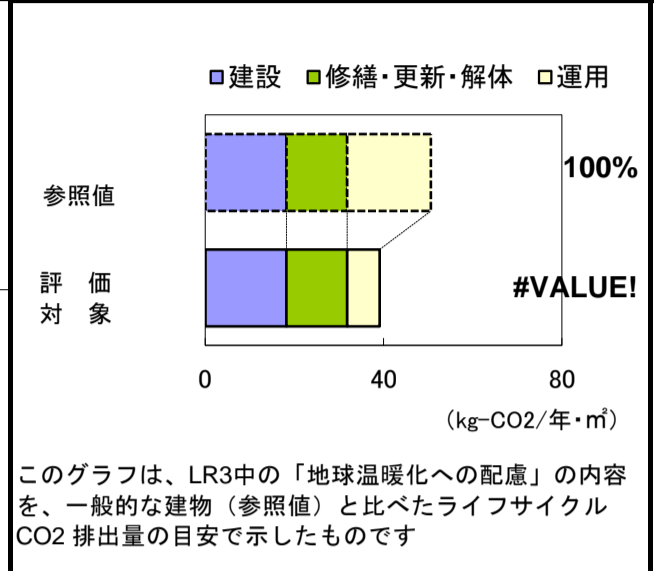
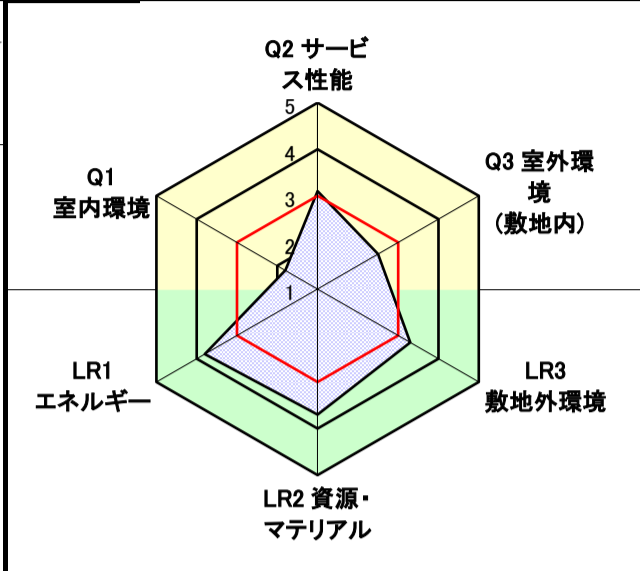
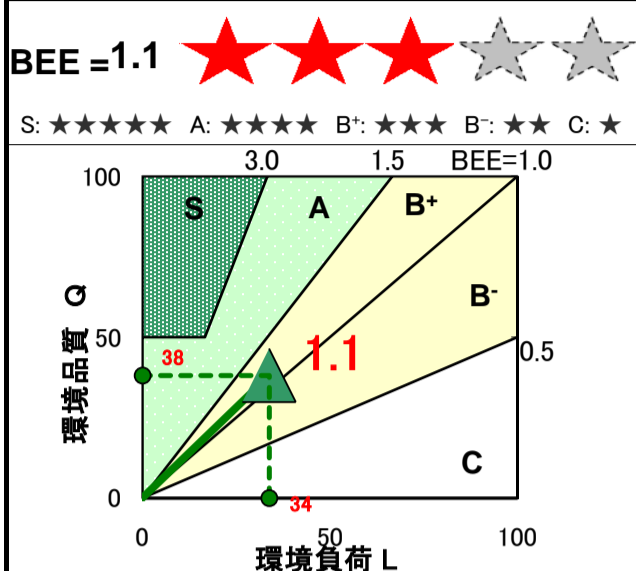
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE®新潟

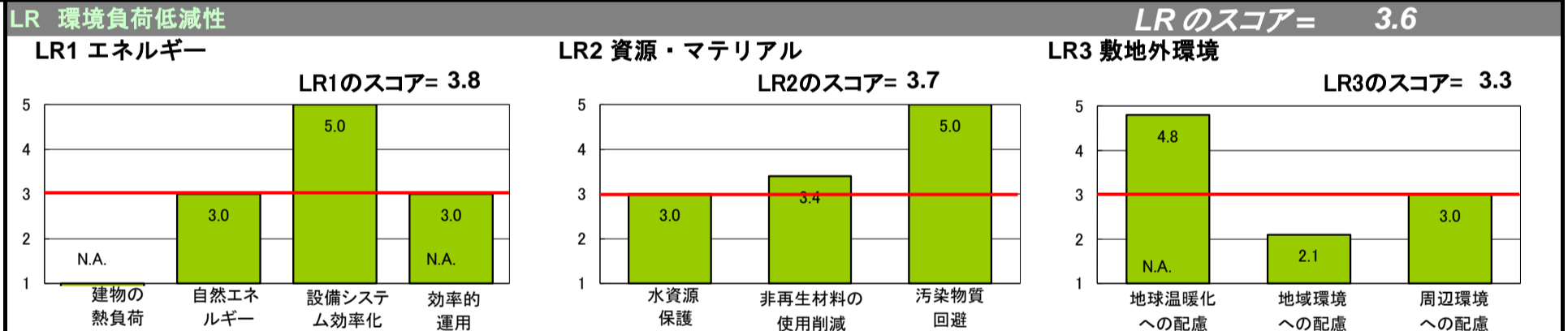
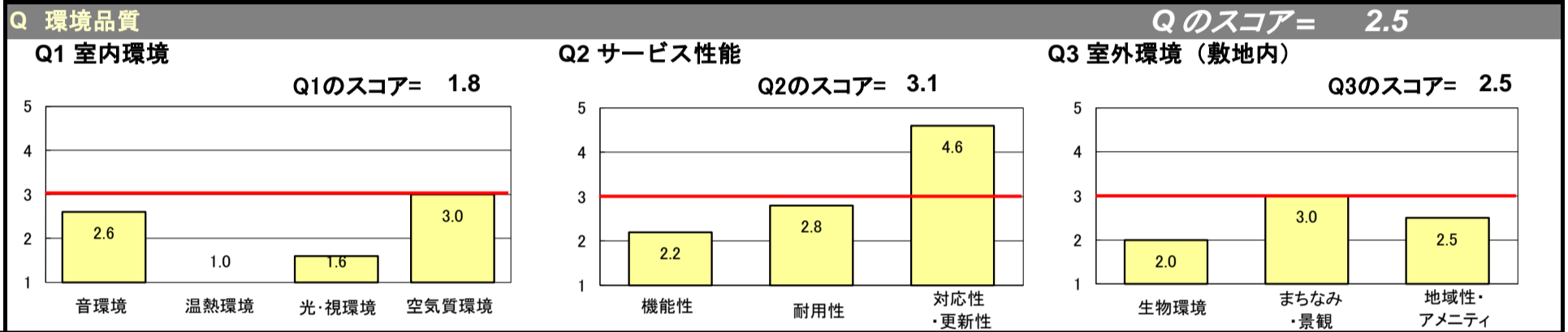
# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

**2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 大項目の評価(レーダーチャート) | 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**



**2-4 中項目の評価(バーチャート)**



**2-5 設計上の配慮事項**

<b>総合</b> ・使用材料の選択及び工法を見直し耐用年数を高め、維持管理費用を少なくする	<b>その他</b> ・なし
<b>Q1 室内環境</b> ・室内が屋根面からの熱により内部温度の上昇から作業環境に影響するため、天井を設け、空間層とさらに断熱材の敷き込みにより温度軽減を図る	<b>Q2 サービス性能</b> ・機能性や使いやすさを考慮し空間を大きくとる
<b>LR1 エネルギー</b> ・冷暖房を必要としない建物とする	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・再生コンクリートを舗装の路盤下地に使用する
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・現況の植栽を利用し、適切な緑地帯を確保する
	<b>LR3 敷地外環境</b> ・光害の発生を防止するために外灯の設置及び点灯時間を少なくする

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される